

1 題材名 「絵から聞こえる音」

【第4学年】A表現（1）イ，（2）イ，B鑑賞（1）ア〔共通事項〕（1）ア，イ 絵に表す活動

2 題材について

(1) 児童について

本学級の児童は、どの教科も意欲的に取り組んでいる。図画工作が好きな児童も大変多く、毎時間意欲的に活動している。普段の絵を描く活動では、モチーフをもとにしたり、テーマから想像したりして描くことが多いが、今回の題材は絵から聞こえてきた音のイメージを表現する活動である。明確なモチーフやテーマがないことから、手が止まって悩む児童が予想される。Jamboard の活用や、自由に他の児童の作品を見る時間を設けるなどして、イメージの表し方には様々な形や線の表現があることを共有できるようにしたい。また、言葉だけでは伝わらない友達の見方や感じ方を味わって楽しむ面白さを味わわせたい。

(2) 本題材を指導するに当たって

本題材は、作品を見て感じた音のイメージを形や色で表すことで、言葉だけでは伝わらない友達の見方や感じ方を味わって楽しむ題材である。聞こえてくるように感じる音を伝え合いながら、友達の見方や感じ方の違いを味わい、線や形の組み合わせや色の塗り方を工夫して表し、見方・感じ方を伝える活動となる。

聞こえてくる音を表現する活動では、表現する画面を正方形にし、天地にこだわらない見方を発揮しやすくし、面白い表現が生まれるようにしていきたい。さらに、画面を手のひらの大きさ程度のサイズにし、音を表現することに費やす時間を短くし、表した音の表現を持ち寄って話したり聞いたりする時間を確保できるようにする。

(3) 研究主題と本題材とのかかわり

I C Tを活用することで、他の児童の意見との比較が容易になり、伝え合いながら、見方や感じ方の違いを味わうことができる。Jam 上の付箋の操作を行うことで、主体的に取り組む、想像することを苦手とする児童でも、他の児童の意見を手掛かりにして想像を膨らませることができる。

3 目標・〔共通事項〕及び評価規準 ※（〔共通事項〕（1）ア、イは、ア\_\_\_\_\_、イ\_\_\_\_\_で示す。）

- 自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかる。
- 感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫することができる。 〈知識及び技能〉
- 自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えることができる。
- 絵の特徴と感じる音の違いや面白さを比べながら、感じたことを話すことができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- 絵から感じる音に興味をもって絵の特徴を探そうとする態度を養う。 〈学びに向かう力、人間性等〉

#### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>知</b> 自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかっている。 <b>技</b> 感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫している。	<b>発</b> 自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考える。 <b>鑑</b> 絵の特徴と感じる音の違いや面白さを比べながら、感じたことを話している。	<b>態</b> 絵から感じる音に興味をもって絵の特徴を探そうとしている。

#### 5 指導と評価の計画（全2時間）

	学習活動 ○ICT 活用	評価規準と評価方法
第1時 (本時)	<b>提案1</b> ・絵を見て感じた音を話す。 ○ICT を使用して、絵から感じた音をグループで出し合う。	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <u>ICT、観察</u> ・絵の特徴から、絵から感じる音を探している様子の確認。
	<b>提案2</b> ・他の絵から感じる音と比べて気付いたことを話す。 ○ICT を使用して、複数の見方・感じ方に触れる。	<b>【思考・判断・表現】</b> <u>ICT、観察、対話</u> ・絵の特徴と感じる音の違いや面白さを比べながら、感じたことを話している様子の確認。
第2時	<b>提案3</b> ・感じた音を形や色で表す。	<b>【思考・判断・表現】</b> <u>作品、観察</u> ・自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかっているかの確認。 <b>【知識・技能】</b> <u>作品、観察</u> ・感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫しているかの確認。
	<b>提案4</b> ・グループで話したことや考えたことを伝えあう。	<b>【知識・技能】</b> <u>ICT、観察</u> ・感じる音の違いや面白さを比べながら、感じたことを話している様子の確認。

#### 6 本時の学習（本時 1 / 2時）

##### (1) 目標

- ・絵から感じる音に興味をもって絵の特徴を探そうとする態度を養う。 〈学びに向かう力、人間性等〉
- ・絵の特徴と感じる音の違いや面白さを比べながら、感じたことを話すことができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉

##### (2) 準備

- 教師：掲示用拡大絵（2枚）、グループ用拡大絵（各グループ2枚）、ChromeBook、大型液晶モニター
- 児童：ChromeBook

(3) ICT活用

ICT活用の場面	■導入 ■展開 ■まとめ
ICT活用者	■指導者 ■児童・生徒 □その他( )
ICT活用の目的	■資料の提示(指導者) ■資料の提示(学習者) ■自分の考えをまとめる ■グループの考えをまとめる ■他者との考えの比較・交流 □学習内容を調べる ■自分の考えを表現する □学習の振り返り □記録(写真・動画等) □プレゼンテーション等の作成
活用機器	□電子黒板 ■指導者用タブレット端末(ChromeBook) ■児童・生徒用(ChromeBook) ■その他(大型液晶モニター)
活用コンテンツ	○Jamboard, ムーブノート
ICT活用のポイント	○Jamboardを使用することで、児童が絵に描かれたものを整理したり、そこから感じた音をリアルタイムで比較したりしながらブレインストーミングすることができる。また、複数のボードを見合うことで、互いの感じ方の違いやよさに気付くことができる。 ○ムーブノートを使用することで、児童の考えを整理したり、そこから感じた音をリアルタイムで共有・比較したりしながら考えを深めることができる。

(4) 展開

学習活動 予想される児童の 具体的な姿(「」)	指導の工夫 (〔共通事項〕に係る内容 ア____、イ_____)	評価と手立て 【観点】：評価規準(評価方法) ◎：十分満足できる状況 ◆：B評価に達しない児童への手立て ☆ICT活用のポイント	時間 (分)
<b>提案1</b> 絵を見て感じた音を話そう。  1 絵を見て感じた音を付箋に書き出す。 「カーテンがゆれている。」 「窓から風が吹き込んでいる。」 「そよ風みたいだ。」 「窓の向こうに道がある。」 「車が通ったようだ。」 「海か湖が見える。」 「波の音が聞こえてきそうだよ。」 「道の向こうには暗い	○クラス全体で一つの絵から聞こえる音を考え、活動への意欲を高める。  ○絵を見て気付いたことをもとに、感じたり考えたりしたことを発言・付箋に記入するよう促す。  ○ <u>絵のモチーフや場面の様子から、どんな音が聞こえてきそうか想像できるようにする。</u>	【 <b>態</b> 】絵から感じる音に興味をもって絵の特徴を探そうとしている。 (行動観察・ICTの表現・対話) ◎絵を見て気付いたことをもとに、感じたり考えたりしたことを進んで発言・付箋に記入している。 ◆音を想像することが苦手な児童には、対話をとおして、絵に描かれている物を探し出しそこからどんなものの音が聞こえるかを考えさせる。 ☆絵に描かれているものをグループで話しながら付箋に書き出し貼り付けていく。それらの特徴から音を想像する手がかりとする。(大型テレビ、タブレッ	15

<p>森がある。」</p> <p>2 付箋に書き出したことをもとに、音の感じ方について話す。</p> <p>「同じ風の音だけど、ヒューヒューとそよそよで感じ方が違うね。」</p> <p>「森で木々が揺れる音も、ざわざわとシャーシャーで違うね。」</p>	<p>○同じ絵の部分に注目して書かれた付箋をもとに、書かれている音が違うことに気付けるようにする。</p>	<p>ト・Jamboard)</p>	<p>12</p>
<p><b>提案2</b> 他の絵から感じる音と比べて気付いたことを話そう。</p>			<p>8</p>
<p>3 2つの絵から感じた音の違いを比べて気付いたことを話す。</p> <p>「見たことのない楽器の音が聞こえるよ。」</p> <p>「暗いほうの絵は、自然の音が聞こえてくるみたい。」</p> <p>4 話して気付いたことをワークシートに書く。</p> <p>「Aの絵は静かな音が多いけれど、Bの絵はにぎやかな感じがする。」</p>	<p>○場面や様式、印象や色合いが異なる絵から聞こえてくる音と比べて気付いた特徴を話すように促す。</p> <p>○感じた音に注目して、絵の特徴と結び付けて話すようにする。</p>	<p>【思・判・表鑑】</p> <p>絵の特徴と感じる音の違いや面白さを比べながら、感じたことを話している。(行動観察・ICTの表現・対話)</p> <p>◎面や様式、印象や色合いが異なる絵から聞こえてくる音と比べて気付いた特徴を話している。</p> <p>◆絵を比べることが苦手な児童には、絵に描かれている物の違いを比べるよう言葉がけをする。</p> <p>☆それぞれのグループが観賞したJamを見あい、絵の特徴と感じ方の違いを話す。(大型テレビ、タブレット・Jamboard)</p> <p>☆感じたことをムーブノートみんなの広場で共有し、それぞれの感じ方の違いに気付く。(大型テレビ、タブレット・ムーブノート)</p>	<p>10</p>

(5) 板書計画

絵から聞こえる音

● Jamboard を使って、絵から感じる音を伝え合おう。

The diagram illustrates a Jamboard setup for sharing sound impressions. It features three yellow sticky notes with sound descriptions: 'つりあげている ざばーん' (top left), 'おだやかな鼓 ざざあ' (top right), and 'つりあげている びちゃびちゃ' (bottom left). Lines connect these notes to three empty rectangular boxes labeled '絵' (Picture), representing the visual stimuli that inspired the sounds.